

博士課程教育リーディングプログラム
筑波大学グローバル教育院「エンパワーメント情報学プログラム」
平成 30 年 4 月入学者を対象とする 12 月期 履修者特別選抜要項

文部科学省の平成 25 年度「博士課程教育リーディングプログラム」に、筑波大学が提案した「エンパワーメント情報学プログラム」が採択され、現在では、第 1 期生～第 4 期生が在籍しています。本事業では、企業・病院・海外拠点の参画を得つつ、工学・芸術・ビジネス科学・臨床医学等、専門分野の枠を超えて、前期（修士）・後期（博士）課程一貫による世界に通用する質の保証された分野横断型の学位プログラムを構築・展開し、大学院教育の抜本的改革を先導します。

本プログラムの概要についてはウェブサイト (<http://www.emp.tsukuba.ac.jp>) を参照してください。
本プログラムの履修を希望する者は、以下により出願してください。

出願期間： 11 月 20 日～22 日

選抜試験： 12 月 5 日

合格発表： 12 月 15 日

1. 募集人員

12 月期 履修者特別選抜では、既に本学大学院に合格している者から平成 30 年 4 月入学者を選抜します。

1 年次入学 6 名

3 年次編入 若干名

注：本プログラムは、博士前期・後期課程を一貫した「5 年一貫の学位プログラム」です。
一般の博士後期課程への入学は、本プログラムでは 3 年次編入に相当します。

2. 出願資格

平成 30 年度筑波大学大学院（博士前期課程・後期課程）入学試験に既に合格している者で、且つ、本プログラムの担当者を指導教員として、5 年一貫の本プログラムの履修を希望する者。

備考：本プログラムの担当教員は、システム情報工学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻、芸術専攻、疾患制御医学専攻、感性認知脳科学専攻、心理専攻、心理学専攻、看護科学専攻）、図書館情報メディア研究科から構成されています。これらの担当教員から指導教員を選択することになります。

3. 出願方法

志願者は、下記「9.」の必要書類をすべて取り揃え、期間内に持参により提出してください。

受付期間 平成 29 年 11 月 20 日（月）～ 22 日（水） 各日とも 9 時から 17 時まで

提出場所 エンパワーメント情報学プログラム（EMP）事務室（3A 棟 2 階 3A218）

4. プレゼン資料提出方法

志願者は、下記期日までに、口述試験で使用するプレゼンテーションのスライド資料を提出してください。

提出期限 12 月 1 日（金）17 時まで

提出方法 スライド資料を PDF 化し emp-admission@un.tsukuba.ac.jp 宛てに送付してください。
スライド資料は背景を白で統一し、サイズが 5MB を超えないようにしてください。

5. 選抜方法

平成 29 年 12 月 5 日（月） 次の方法により口述試験を行います。

プレゼンテーション 及び 質疑応答

1 年次入学：研究計画に関するプレゼンテーション	・・・	5 分
キャリアプランに関するプレゼンテーション	・・・	5 分
質疑応答	・・・	10 分
3 年次編入：研究実績及び研究計画に関するプレゼンテーション	・・・	10 分
キャリアプランに関するプレゼンテーション	・・・	5 分
質疑応答	・・・	15 分

開始時間については、出願後メールにて送付される「受験者心得」により確認してください。

※ 口述試験で使用するプレゼンテーションのデータは、志願者が自分のパソコンに入れて持参してください。なお、念のため、データを保存した USB メモリ等を持参してください。また、Mac を使用する場合は、プロジェクターに接続するための VGA アダプタも持参してください。

6. 試験場

筑波大学 第三エリア

詳細な日程・集合場所等は、出願後メールにて送付される「受験者心得」により確認してください。

7. 受験の際に特別な配慮を必要とする者

障害のある者で受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成 29 年 11 月 6 日（月）までに、EMP 事務室に相談してください。

8. 提出書類

① 履修者特別選抜志願票・履修承諾書

履修承諾書には合格した研究科・専攻の専攻長並びに指導教員から承諾の署名をもらうこと。

② 受験票・写真票

写真は同じ写真を貼付すること。

③ 研究計画書

入学後の研究計画について、日本語 1,000 字以内または英文 500 語以内で記入すること。文字サイズは 11 ポイントとし、様式の変更や図表・グラフの挿入は認めない。

なお、研究計画書は、主として次の 4 項目について審査を行うので、留意して記載すること。

- エンパワーメント情報学に適切な専門性とその表現力を有しているか
- 学際的な研究力の基礎を有しているか
- 多角的で複眼的な思考力を有しているか
- 国際社会において、強さを発揮出来る人材であるか

④ キャリアプラン調書

本プログラム終了後（博士号取得後）のキャリアプランについて、日本語 1,000 字以内または英文 500 語以内で記入すること。文字サイズは 11 ポイントとし、様式の変更や図表・グラフの挿入

は認めない。

なお、キャリアプラン調書は、主として次の3項目の審査を行うので、留意して記載すること。

- イニシアティブを発揮できるグローバル人材の資質があるか
- 社会ニーズに適合する技術を実践的に担う人材であるか
- 社会の困難な実問題に挑戦し、解決する能力を有しているか

⑤ 合格通知書の写し

筑波大学から送付された合格通知書の写しを提出すること。

⑥ 卒業・修了（見込）証明書、及び成績証明書

最新の証明書等を提出すること。なお、他大学卒業・修了見込の者は、GPA の証明書があれば一緒に提出してください。

1 年次入学 卒業（見込）証明書（学士）、成績証明書（学士）

3 年次編入 修了（見込）証明書（修士）、成績証明書（修士）

※口述試験の参考資料としますので、下記証明書等を提出して下さい。

成績証明書（学士）のコピーまたは学士の学修状況がわかる書面

⑦ TOEIC の公式認定証、TOEFL の受験者スコア票または IELTS Academic の成績証明書

平成27年4月以降に受験したTOEICの公式認定証、TOEFLの受験者スコア票またはIELTS Academicの成績証明書を提出すること（コピー不可）。

なお、既に合格している他研究科の入試において認定証、スコア票または証明書を提出した者にとっては、再交付された原本を提出すること。

また、以下の1)、2)、3)に該当する者で、認定証、スコア票または証明書の提出免除を希望する者は、⑧の申立書を提出すること。

- 1) 英語を第一言語または母語として使用している者
- 2) 英語が公用語として使用されている出身国の者
- 3) 授業が全て英語で行われている学士課程を卒業した者

⑧ 申立書（該当者のみ）

TOEIC の公式認定証、TOEFL の受験者スコア票または IELTS Academic の成績証明書の提出の免除を希望する場合は、学歴等の内容を含む自身の言語背景を簡潔にまとめた申立書を提出すること。

9. 検定料

不要（既に本学大学院に合格している者を対象としているため。）

10. 合格発表

平成29年12月15日（金）

本プログラムのウェブサイト上 (<http://www.emp.tsukuba.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、同日付で履修許可書を書留にて発送します。

注意：合否に関する問合せには応じられません。

11. 入学手続

本プログラムの合格者へは、平成 30 年 2 月 16 日（金）に「入学手続き案内」を送付する予定ですが、研究科名欄には「グローバル教育院」、専攻名欄には「エンパワーメント情報学プログラム」と記入してください。

- 入学手続き期間 平成 30 年 3 月上旬を予定

※詳細は「入学手続き案内」を確認して下さい。

- 入学料 282,000 円

※ 国費外国人留学生は不要。

- 授業料 年額 535,800 円（第 1 期分：267,900 円 第 2 期分：267,900 円）

本プログラム履修者は授業料の減額措置対象者となりますので、入学前には払い込まない
ください。

〔授業料納付額〕

1 年次 第 1 期分 133,950 円，第 2 期分 133,950 円（正規授業料の半額）

3 年次 0 円（授業料は全額免除）

- その他

日本国籍以外の方は、入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和 26 年政令第 319 号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

12. その他

① 進路再考の機会

1 年次入学者は、2 年次進級前に進路再考の機会があります。入学後に研究の進捗状況等の理由により進路変更を希望する場合は、「転研究科」制度を利用して、最初に合格した研究科・専攻も含め他研究科等に移籍を希望することができます。ただし、移籍の可否は、希望する研究科等の判断に委ねられます。

② エンパワー寮

本プログラムの 1，2 年次生は、エンパワー寮に入居することになります。

③ 奨励金

履修者特別選抜による 1 年次入学者には、平成 31 年度までは月額 18 万円、平成 32 年度以降は月額 7 万円の給付型支援経費（奨励金）を支給します。

支給対象者は、国費による支援及び日本学術振興会特別研究員事業（DC）等、他の給付型支援経費を受給していない者に限ります。

13. 問い合わせ先

グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラム（EMP）事務室

住 所 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1 番 1

電 話 029 (853) 8740

E メール info@emp.tsukuba.ac.jp

プログラム担当教員

【研究指導教員】

氏名	所属	専門分野
岩田 洋夫	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	バーチャルリアリティ
山海 嘉之	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	サイバニクス
加藤 和彦	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・コンピュータサイエンス専攻	分散システム工学
△ 阿部 豊	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・構造エネルギー工学専攻	エネルギーシステム工学
伊藤 誠	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・リスク工学専攻	認知システム安全工学
大澤 義明	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・社会工学専攻	社会工学
葛岡 英明	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	協調作業支援
酒井 宏	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・コンピュータサイエンス専攻	計算神経科学・認知神経科学
鈴木 健嗣	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	人工知能
福井 和広	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・コンピュータサイエンス専攻	画像認識・機械学習
△ 水谷 孝一	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	医用電子工学・福祉機器・計測工学・超音波エレクトロニクス
三谷 純	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・コンピュータサイエンス専攻	コンピュータグラフィックス
森田 昌彦	システム情報系・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	神経情報処理
井澤 淳	システム情報系・准教授 グローバル教育院・エンパワーメント情報学プログラム	身体性脳科学
河本 浩明	システム情報系・准教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	生体制御システム
庄司 学	システム情報系・准教授 システム情報工学研究科・構造エネルギー工学専攻	ライフライン地震津波防災工学
田中 文英	システム情報系・准教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	ソーシャルロボティクス・ヒューマンロボットインタラクション
亀田 能成	計算科学研究センター・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	知能情報学・複合現実
△ 北川 博之	計算科学研究センター・教授 システム情報工学研究科・コンピュータサイエンス専攻	データ工学
北原 格	計算科学研究センター・教授 システム情報工学研究科・知能機能システム専攻	コンピュータビジョン
猿渡 康文	ビジネスサイエンス系・教授 ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻、企業科学専攻	オペレーションズ・リサーチ
西尾 テヅル	ビジネスサイエンス系・教授 ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻、企業科学専攻	マーケティングマネジメント
弥永 真生	ビジネスサイエンス系・教授 ビジネス科学研究科・企業法学専攻、企業科学専攻	法律学
綾部 早穂	人間系・教授 人間総合科学研究科・心理専攻、心理学専攻	感覚知覚心理学
▲ 小川 園子	人間系・教授 人間総合科学研究科・感性認知脳科学専攻	行動神経科学
原田 悦子	人間系・教授 人間総合科学研究科・心理専攻、心理学専攻	認知心理学・認知工学・認知科学
山中 敏正	芸術系・教授 人間総合科学研究科・感性認知脳科学専攻	感性情報学・デザイン学
田中 佐代子	芸術系・准教授 人間総合科学研究科・芸術専攻	サイエンスビジュアルリゼーション学
● 松村 明	筑波大学副学長(医療担当) 医学医療系・教授	脳神経外科学
○ 大河内 信弘	医学医療系・教授 人間総合科学研究科・フロンティア医科学専攻、疾患制御医学専攻	消化器外科学
日高 紀久江	医学医療系・教授 人間総合科学研究科・看護科学専攻	リハビリテーション看護学
山崎 正志	医学医療系・教授 人間総合科学研究科・フロンティア医科学、疾患制御医学専攻	整形外科学
森嶋 厚行	図書館情報メディア系・教授 図書館情報メディア研究科・図書館情報メディア専攻	クラウドソーシング・データ工学・データベースシステム

平成29年4月1日現在

○印の教員は、平成30年3月31日に退職予定。

●印の教員は、平成32年3月31日に退職予定。

△印の教員は、平成33年3月31日に退職予定。

▲印の教員は、平成34年3月31日に退職予定。